

体験プログラム・物づくり教室等の募集

かなたけの里公園では、里山の環境を活かしたイベントや体験プログラム、物づくり教室を実施しています。12月は以下の内容のイベントや募集を行っておりますので、是非お申込ください！

| 名称 | 概要 | 時間 |
|------------------|--|--------------------------|
| 餅つき体験 | 餅つき体験後、つきたて餅を3個食べられます ●料金：100円 ●受付：当日先着順 | 10時～ (無くなり次第終了) |
| 特産品販売・ 飲食コーナー | 地域で採れた野菜等の農作物や、かしわごはん、スイーツ、 その他の加工品の販売、軽食や飲み物の販売。 | 10時～ (無くなり次第終了) |
| しめ縄づくり 教室 | お正月に飾るしめ縄を作る教室 ●料金：300円/個 ●受付：当日先着20個 | 10時～12時 (材料がなくなり次第終了) |
| 炊き出し振る舞い | 鶏がらベースの芋煮汁の振る舞い ●料金：無料 ●定員：200食、当日先着順 | 12時～ (無くなり次第終了) |
| 門松づくり 教室 | お正月に飾るミニ門松を作る教室 ●料金：300円/個 ●受付：当日先着100個 | 13時～15時 (材料がなくなり次第終了) |

第7駐車場 (9:40より毎時40分、10分発) ←→ **管理棟** (毎時00分、30分発) **無料シャトルバス**をご利用下さい
※12:00管理棟発 および12:10第7駐車場発の便は運休します
 ※当日の状況により、イベントやシャトルバスの運行が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

| 里山クッキングカフェ | | |
|---|----------------------------------|---|
| 公園内で採れる作物 等を活かし、手軽に 料理・味わうことが できる体験です。 | 1月12日(月・祝) 11時～ メニュー：いきなり団子 他 | ●料金：1食500円 ●定員：20食(先着順) ●申込：12月15日午前9時より 電話か公園窓口にて |

| ものづくり教室 毎月定期開催中 | | | ※各教室ともに先着順、定員になり次第受付終了します | | |
|---|--|--|--|---|---|
| 竹クラフト教室 清水さんの 教室 | 竹のおもちゃか ら日用品まで。 話を聞きなが ら一緒に作る教 室です。 | ●日時 毎週土曜日 13:00-15:00 ●定員 10名 ●参加費 無料 ●申込方法 当日公園窓口 | 布ぞうり 教室 | 使わなくなった衣 類などの布を再利 用し、かわいい布 ぞうりをつくる教 室です。 | ●日時 第2・3火曜日 13:30-16:30 ●定員 8名 ●参加費 1,000円/2回 ●材料費 300円(1足分芯代) ●申込方法 電話か窓口 毎月15日(翌月分) |
| 野の花観察 茶花教室 | 園内の野の花を 観察・採取し、 茶花をいける教 室です。 ※生きたい花器 をお持ちの方は ご持参下さい。 | ●日時 第4金曜日 13:30-16:30 ●定員 10名 ●参加費 1000円 ●竹の花器 200円 ●申込方法 電話か窓口 毎月1日(当月分) | 1月より 新期 スタート 竹工芸 教室 | 竹ひごづくりから カゴづくりまで。 伝統工芸である竹 編みを3か月間通 して学びます。 | ●日時 第1・3(水)(日) 13:30-16:30 ●定員 各10名程度 ●参加費 3000円/6回 4500円/12回 ※別途材料費 ●申込方法 電話か窓口 6・9・12・3月 各月15日 (翌3カ月分) |
| 1月より 新期 スタート さげもん づくり 教室 | 女の子の幸せを 願う縁起の良い 小物「さげもん」 をつくる教室を 行います。3か 月間通して学び ます。 | ●日時 第2・3金曜日 13:30-16:30 ●定員 17名 ●参加費 3000円/6回 ●材料費 500～1000円/回 ●申込方法 電話か窓口 6・9・12・3月 各月15日 (翌3カ月分) | 里山ボランティア 公園の里山環境を保全する 活動として、主に竹林の手 入れをするボランティアを 募集します。共に作業をし て汗を流し、もっと里公園 を楽しんで見ませんか？ 1回だけの参加、途中参加も可能です！ | | |

| ご利用案内 | |
|-------|---|
| 開園時間 | 4月から9月 [7:00 - 19:00] 10月から3月 [8:00 - 18:00] |
| 休園日 | 年末年始 [12月29日 - 1月3日] ※イベント等により変更することがあります。 |
| 入園料 | 無料 ※農業体験などには別途料金が必要です。 |
| 駐車場 | 無料 普通車 230台 / 大型車 8台 |

福岡市民の「里」として育む公園

かなたけの里公園

http://kanatakenosato.jp

お問合せ・お申込みはこちらへ
 福岡市西区大字金武字菅(すげ) 1367
 電話/ファックス：092-811-5118
 メール：info@kanatakenosato.jp

福岡市民の「里」として育む公園

Vol.29

かなたけの里 通信 2014年12月号

かなたけの里通信は公園12月の見どころやイベント・11月の公園の取組み・地域情報などをご案内します。

かなたけの里わいん 2014



かなたけの里公園のブドウ園では、巨峰の他にもワイン用ブドウ(メルロー、シャルドネ、サンセミヨン)を栽培しています。ボランティアさんや、ブドウづくり体験参加者、公園スタッフが手塩にかけてお世話をし、8月中旬に収穫。新鮮なうちに田主丸の巨峰ワインさんへ持ち込み、約3か月の時をかけて、体に優しく、おいしいワインに仕上げてくださいました！ラベル作りや販売にあたっては、今年も地域の酒屋さんである牛尾酒店さん、森田酒店さん、公園と共働で開発し、11月20日(木)から「金武ヌーボー」として販売を行いました。今年限定830本です。果実味とさわやかな酸味・渋味で優しい口当たりの辛口な赤ワイン、口に入れるとふんわりした果実味ときりっとした酸味が特徴のやや甘口の白ワイン、今年のかなたけの里ワインのお味はいかがでしたか？お楽しみいただけた方には、味や料理との相性など、ご感想をお聞かせいただければ幸いです。これからもよりワインを楽しんでいただける体験や販売を考えていきたいと思えます。(販売状況は酒店もしくは公園にお問合せ下さい。)

里の年末祭 2014 12月21日(日)

餅つき、しめ縄づくり、門松づくり等、里のお正月準備を楽しみましょう！

詳しくは裏面をご覧ください。



12月の「かなたけの里」マップ

「群れ」で冬を乗り切ろう！

冬がやって来ました。寒くマ、乾燥シマ、食べ物が少ない冬を乗り切るため、生きものたちはたくさんの工夫をしています。そのひとつが「群れ」を作ること。群れる理由ははっきりとはわかりませんが、冬だけ集団になる生きものは意外と多いんです。みんなまで過ごした方が楽しいから、かもしれませんね・・・

小さな鳥たちのゆるいコミュニティ

冬になると、小鳥たちは違う種類同士が集団で移動するようになり、この群れのことを「混群（こんぐん）」と呼びます。混群を作る理由は、食べものを見つけやすくなる、外敵を早く発見できるなど様々な説があります。とは言えみな同じ行動をするわけではなく、行動範囲やくらし方はみんないつもどおり。必要に応じて集まったり離れたり、なんだか人間の集まりみたいですね。



模様はいろいろあつまも
ぜんぶ「ナミテントウ」

かくれ名人かと思いきや・・・

ふつうは、樹皮のすき間などに上手に入り込んで集団で冬越しをするテントウムシ。でも、雨風の当たらない壁に集まってじっとしていることもあります。そんなに目立つところで大丈夫？

にぎやかさ No.1

声の大きさをいったら、かなたけではヒヨドリがいちばん？林の枝に数十羽が集まって大騒ぎ。地上にいるシロハラと居場所が重なり、にぎやかさに輪が加わることも。

●かなたけの里公園につき ～11月の公園ブログの代表的なものをご紹介します。～
【2014年11月10日 たき火でごはん～山賊パン編～ 開催しました】
11/9（日）小雨と曇りを行ったり来たりのお天気に、朝から問い合わせ殺到でしたが予定通りに開催することができました。たき火でごはん～山賊パン編～に多数ご来園頂き、誠にありがとうございました。自然観察会等でおなじみのNPO法人グリーンシティさんご指導のもと、山賊パン作りを楽しみました。公園産の小麦粉を使い、事前に発酵まで済ませた生地をベーコンと同じ幅に伸ばし、一緒に竹に巻いていきます。かまどで火にあぶり時々回しながら焼き、生地がふっくら、ベーコンがカリッとなったら完成です。とってもおいしそう～。今後も、たき火を使ったイベント等を企画したいと思います。 続きはWEBをご覧ください



公園周辺 おすすめ散歩道のご紹介 ～飯盛神社・里山ゆったり散歩道～

前号まで続いていました「地域のお店紹介」はちょっとひと休み。。。今月は里公園を出発して飯盛神社を目指す散策コースをご紹介します。



かなたけ写真コンテスト
冬の部スタート
(12月1日～2月28日)
カメラを持って歩いてみてね！

●散策コースの概要

管理棟裏の竹林抜け道路に出て、池の堤のほうに向かって歩き始めます。少し進むと道が狭くなって林の中に小さな坂道が現れます。ちょっと暗くて怖い感じですが、ここを上ると右手の林の中には、巨石で築かれた横穴式石室がある「夫婦塚古墳」（市指定史跡）があります。林を抜けると正面には飯盛山が見えてきます。ここまで来ると、お天気が良い日には遠くに福岡の街並みを見ることができる気持ちの良い場所で、ちょっとした高台であることに驚きを感じます。左手に乙石の集落を見ながら日向峠につながる県道49号線の下をくぐります。



狭い坂道を抜けると。。。



正面は飯盛山

県道を超えて川沿いの道は、田んぼが広がるのどかな景色です。9月中旬ごろには黄色くなり始めた稲穂の間に咲く、赤い彼岸花が見ごろとなります。来年の秋が楽しみです。しばらく進むと吉武の集落に入っていきます。途中、レンガ造りの蔵やきれいな石積みも見られ、どこか懐かしい街並みです。



市街地の眺望

さらに進んで、長い白壁のあるお家を過ぎ、「飯盛神社専用駐車場」と書かれた看板がある三叉路の一つ先の角から左側、奥の森の中に「飯盛文殊堂」があります。ここに安置されている木像の「文殊菩薩騎獅像」（市指定文化財）はS35年発刊の「村誌」によると日本三大文殊といわれるほどの像だとか。。。知恵と学問の仏様です。少し進んで路面がレンガ色と緑色の道を左に曲がると飯盛神社が見えてきます。この色のついた道は伝統行事の「流鏝馬」に使われる道です。



市内とは思えないのどかさ



流鏝馬の道

片道2.5km、30～40分の道のりです。「かなたけ写真コンテスト」のパンフレットについているマップを見ながら、カメラを片手に散策してみてください。写真が撮れたらお気軽にコンテストにご応募ください。素敵な賞品に当選するかも！！

編集
かなたけの里公園：芳澤・松本